

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年3月10日(2016.3.10)

【公表番号】特表2015-513535(P2015-513535A)

【公表日】平成27年5月14日(2015.5.14)

【年通号数】公開・登録公報2015-032

【出願番号】特願2014-558090(P2014-558090)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/7088	(2006.01)
A 6 1 K	31/713	(2006.01)
C 1 2 N	15/113	(2010.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	Z N A
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 K	31/713	
C 1 2 N	15/00	G
C 0 7 K	14/47	

【手続補正書】

【提出日】平成28年1月20日(2016.1.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ウイルス感染を予防または治療するための使用のための、ホスファチジルセリンとTIMレセプターとの間の相互作用の阻害剤であって、
(i) TIMレセプター阻害剤、および/または
(i i i) ホスファチジルセリン結合タンパク質である阻害剤。

【請求項2】

TIMレセプターが、TIM-1、TIM-3またはTIM-4である、請求項1(i)記載の使用のための阻害剤。

【請求項3】

TIMレセプター阻害剤が、抗TIMレセプター抗体、アンチセンス核酸、模倣体または変異型TIMレセプターである、請求項1または2記載の使用のための阻害剤。

【請求項4】

ホスファチジルセリン結合タンパク質が、抗ホスファチジルセリン抗体またはアネキシン5である、請求項1または2記載の使用のための阻害剤。

【請求項5】

TIMレセプター阻害剤が、配列番号1、2、3、または4の配列のs i R N Aである、請求項3記載の使用のための阻害剤。

【請求項6】

ウイルスがホスファチジルセリン保有ウイルスである、請求項1記載の使用のための阻害剤。

【請求項7】

ホスファチジルセリン保有ウイルスが、アルファウイルスまたはフラビウイルスである、請求項1～6のいずれか一項記載の使用のための阻害剤。

【請求項8】

アルファウイルスがチクングニヤウイルスである、請求項7記載の使用のための阻害剤。

【請求項9】

フラビウイルスが、ウエストナイルウイルス、黄熱ウイルスまたはデング熱ウイルスである、請求項7記載の使用のための阻害剤。

【請求項10】

前記阻害剤が、少なくとも1種の他の抗ウイルス化合物と組み合わせて連続的または同時のいずれかで投与するための、請求項1～9のいずれか一項記載の使用のための阻害剤。

【請求項11】

他の抗ウイルス化合物が、ホスファチジルセリンとT A Mレセプターとの相互作用の阻害剤である、請求項10記載の使用のための阻害剤。

【請求項12】

ホスファチジルセリンとT A Mレセプターとの相互作用の阻害剤が、

(i) T A Mレセプター阻害剤、および/または

(ii) G a s 6 阻害剤

である、請求項11記載の使用のための阻害剤。

【請求項13】

前記阻害剤が、薬学的に許容されうる組成物に製剤化される、請求項1～12のいずれか一項記載の使用のための阻害剤。

【請求項14】

請求項1～9のいずれか一項記載の阻害剤および追加的に少なくとも1種の他の抗ウイルス化合物を含む薬学的組成物。

【請求項15】

少なくとも1種の他の抗ウイルス化合物が、ホスファチジルセリンとT A Mレセプターとの相互作用の阻害剤である、請求項14記載の薬学的組成物。

【請求項16】

ホスファチジルセリンとT A Mレセプターとの相互作用の阻害剤が、

(i) T A Mレセプター阻害剤、および/または

(ii) G a s 6 阻害剤

である、請求項15記載の薬学的組成物。

【請求項17】

細胞内へのホスファチジルセリン保有ウイルス、特にフラビウイルスの侵入を阻害するin vitro方法における、請求項1～9のいずれか一項記載の阻害剤の使用。